

寄付という支援のカタチ、
あります



「被災で途方に暮れる人がいます」

「その日食べる物も無い人がいます」

「詐欺被害に巻き込まれる人がいます」

「いつも孤独な子どもや高齢者がいます」



社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

こんなとき寄付しませんか

【企業の場合】

- チャリティバザーやフリーマーケットの売り上げによる寄付
- 募金活動など企業や団体の社会貢献活動（CSR）の一環としての寄付
- 寄付付き商品の開発、販売による寄付

【個人やグループの場合】

- 個人でコツコツ貯めた貯金箱による寄付
- 遺言や相続財産による寄付
- グループで実施した行事の益金



寄付のメリット

寄付いただいた場合…

- 寄付金控除の対象となります。
- 本会広報誌やフェイスブックにてご紹介いたします。 
- 贈呈式を開催し、感謝状を贈呈します。（ご希望の場合）

このような場面に寄付を活用していきます

- 被災された方の生活再建へのお手伝い
- 生活に困窮されている方のサポート
- 権利や財産を守るしくみ
- 福祉職場などで働く方の確保と育成
- 先駆的・実践的な市民活動団体への活動費の助成 等

北海道社会福祉協議会では、
企業の社会貢献活動（CSR）を応援しています。
一緒に考えてみませんか。まずはお気軽にご相談ください。

道内で行われている
様々な福祉活動の貴重な財源として、
皆さまからの寄付(金銭・物品)は大きな支えになります。
皆さまからのあたたかい寄付を
心よりお待ちしています。

北海道社会福祉協議会は道内の児童・高齢・障がい施設・社会福祉団体・企業等2,500カ所以上を会員としている組織です。北海道社会福祉協議会への寄付だけでなく、支援先を指定して、物品等を寄付することができます。

寄付方法

銀行振込か直接お持ちいただく方法があります。
お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先



社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
企画総務部企画総務課

TEL 011-241-3976

(受付時間 月～金の8:45～17:30 ※国民の祝日・年末年始除く)

北海道社会福祉協議会 寄付

検索

クリック

北海道社会福祉協議会
寄付活用事業のご紹介

◎被災された方の生活再建へのお手伝い

災害ボランティアセンターは、災害時のボランティア活動を円滑に進めるために、被災者とボランティアを結びつける組織です。平成30年に発生した胆振東部地震では、のべ13,000人以上のボランティアを受け入れています。北海道災害ボランティアセンターでは、今後想定される大規模災害や同時多発災害に備え、身近な地域で災害ボランティア活動が速やかにできるような仕組みづくりを構築していきます。



◎生活に困窮されている方のサポート

北海道社会福祉協議会は生活困窮者への支援に取り組んでいます。緊急の支援を要する方に食料品や日用品の支給を行ったり、住居の確保の支援を行うなど取り組みを進めています。



◎権利や財産を守るしくみ

判断能力が十分でない方を支援する制度として、日常生活自立支援事業を実施しています。また、令和元年度に「成年後見制度推進バックアップセンター」を開設し、市町村成年後見センターの運営支援をはじめ、道民に対しても制度の普及に力を入れています。



◎福祉分野で働く方の確保と育成

福祉人材の確保・定着は喫緊の課題となっていることから、福祉の仕事の魅力を伝え、福祉人材の確保のための取組みに力を入れています。

また福祉人材の定着・育成のため職種別・階層別に応じた多種多様な研修を実施し、毎年のべ5,000名以上が受講しています。



◎福祉関係者のスキルアップと表彰

社会福祉関係者のスキルアップのための、大会・研修事業を実施しています。特に北海道社会福祉大会は、道内福祉関係者が700名以上参加され、講演のほか、永年北海道の福祉向上にご尽力された方々に対する表彰を行うなど、盛大に開催しています。



◎調査・研究へのサポート

大学等の研究費が削減されている中、北海道の福祉向上に繋がる調査・研究への助成事業を実施しています。また、北海道社会福祉協議会で実施する独自研究にもこれまで多くの研究者に参画いただき、研究結果は研究誌「北海道の福祉」にまとめています。



◎社会福祉総合基金一般公募助成事業

先駆的・実践的な児童福祉、障がい児者福祉、高齢者福祉、地域福祉の各分野の活動・団体へ助成を行うことにより、北海道の社会福祉に関する諸活動を支援しています。

助成団体紹介

おてらdeごはん プロジェクト実行委員会 [北広島市]

共働き家庭による子どもや独居老人の増加による孤立・孤食の問題があります。本プロジェクトでは、地域で安心して過ごせる居場所(お寺)を提供し、イベントの実施や、温かい家庭料理の提供、サロン活動、学習会などを地域のボランティアや学生が中心となって実施しています。



北海道障がい者スポーツ 学生ネットワーク [当別町]

障がい者スポーツへの関心が高まりつつありますが、障がい者スポーツをサポートする組織は少ないので現状です。道内の学生が中心となったネットワークにより、障がい者スポーツのサポートはもとより、障がい者スポーツの普及と障がい自体の理解促進活動にも取り組んでいます。



NPO法人 さっぽろ福祉支援ネットあいなび [札幌市]

誰もが楽しく集える地域共生の居場所づくりを理念に、子ども食堂の実施や地域の単身高齢者たちが気軽に参加できる「歌声カフェ」を町内会の協力を得て実施しています。

また、元調理師や元教員の方々の協力を得て、貧困家庭の子供たちと親を対象にした食育や学習支援を実施する「ルチア学習塾」等、様々な事業を展開しています。

